

<学校図書室 Hak Arn 215 開設のご報告>

図書室開設日:2011年11月18日(金)

開設場所:フアパン県サムタイ郡パンサワン村

開設学校名:パンサワン村小学校

報告者: 秋元波 (ラオスのこども ラオス事務所スタッフ)



ラオス人民民主共和国フアパン県サムタイ郡パンサワン村にある「パンサワン村小学校」の学校図書室開設式および開設準備が2011年11月18～19日に行われました。当会のビエンチャンにある事務所からは、事務局長のスラピー、スタッフのタモン、ヴィーシヤン、ラオス国立図書館からはヴォパンが同行しました。

パンサワン村にはまだ電気が来ておらず、ジェネレーターで電気を起こしていました。パンサワン小学校は町の中心地にあります。

学校に到着すると全校生徒が長蛇の列を作り出迎えてくれました。図書室の開設準備にはたくさんの生徒達が手伝いに来て、子ども達が本に興味を示していることが伝わってきました。

フアパン県教育局の担当者はサムタイ郡の子ども達は他の地域の子供達に比べ読書への興味が旺盛だと言っていました。しかし、これまでサムタイ郡には図書室のある学校はなく、この図書室が郡内で初めての学校図書室となりました。小学校のすぐ近くに中学高校があり、中学生、高校生もパンサワン小学校の図書室を利用します。



パンサワン小学校の看板



行列をなして出迎えてくれた子ども達



何十メートルも行列になってお出迎え



歓迎されるスタッフたち

<学校図書室 Hak Arn 215 開設のご報告>

【パンサワン村小学校】

今回の寄贈内容には、寄贈図書数：246種類／計498冊（CD、ポスター、地球儀含む）、文具等、図書室整備費（本棚や机椅子、整理棚等）などが含まれています。（右写真は学校に届いたばかりの寄贈した図書です）

●学校について

生徒数：494人（男子265人 女子229人）

教員数：20人

校長：モンチャン・サイヤタム

図書室担当者：ラムピン、カムパット、チャンスック（3名）

教室棟：9棟、教室数：17室

※ラオスの小学校は5年生までです。

●HAK ARN 215 (HA 215)

当会がこれまで開設した学校図書室としては、215番目です。ラオス語「ハック（愛する）・アーン（読む）」から、愛読という意味を込めて、図書室をHAK ARN (HA)という愛称で呼んでいます。

（右写真はご支援者名を記した入り口の看板です）



【図書室開設式】

校庭にテントを張り、図書室の開設式をおこないました。開設式には、全校児童と教員、学校関係者そしてフアパン県教育局職員2名、パーサイ郡教育局職員2名が参加し、合計561名が出席する盛大な式典となりました。

校長からは学校についての報告、国立図書館職員からラオスにおける読書推進活動についての話があり、当会スタッフからは、日本からの支援により図書室が開設された経緯などご支援者の紹介をしました。



【図書室開設セミナー】

ラオスでは多くの教員達自身が図書室を利用した経験がありません。そこで、図書室の運営や管理方法などを、講師が指導します。国立図書館スタッフのヴォパンさんが講師となり、図書室担当の教員は、本の保管方法や貸し出しの手順、本の読み聞かせ方法などを学びました。

〔セミナー内容〕

- ・図書室について
- ・図書の登録の仕方
- ・貸出カードの書き方
- ・貸出、返却の仕方
- ・利用者数の記録の取り方
- ・授業での図書の活用の仕方等

<学校図書室 Hak Arn 215 開設のご報告>



本棚を組み立てる先生



本に貸出しカードを貼り、貸出し準備を手伝う小学生



図書室開設を祝福して伝統的な儀式「バーシー」の様子。村人に健康、安全などを願ってもらうラオス事務所スタッフ。



日が暮れてから、図書室開設のお祝い。ラオス舞踊を披露する女の子たち。



本を手にする生徒たち



人気のカム族の民話絵本「かめくん」を友達と読む

<学校図書室 Hak Arn 215 開設のご報告>



民話絵本「カンパーとナンガー」
を読む子ども達



開設式に参加した村の人たちもさっそく本を手にとっていました。



左が「カンパーと小さいおばけ」、右は「かめくん」。どちらも子ども達に人気のある絵本。



新しい図書室の準備が整いました！



「図書室にはどんな本
があるのかなあ？」